



平成 19 年 11 月 5 日

各 位

会社名：東 和 薬 品 株 式 会 社
(コード：4553 東証第一部)
代表者名：代表取締役社長 吉田 逸郎
問合せ先：取締役企画本部長 西川 義明
(TEL：06-6900-9101)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、このたび、2008～2010 年度（2008.4～2011.3）の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

【中期経営計画の概要】

<めざすべき企業像>

- 患者さんに、医療機関で働く方に、社会に、そして、この会社で働くすべての人に信頼される会社であり続ける。
- 日本市場を基盤としたジェネリック医薬品企業として、信頼性及び売上規模でトップレベルの実力を有し、医療の未来に貢献する。
- その結果として、売上規模で5年後(2012年度)に500億円、将来的には1000億円をめざす。

<基本戦略>

- まず、中期経営計画期間中(2011年3月まで)のできるだけ早い時期に、品質・情報提供・安定供給の面でジェネリック医薬品企業の中で最も信頼される会社になり、そのことが業界内外で認知されるように努める。そのために、本中期経営計画期間中に、めざすべき企業像との乖離があれば、一つ一つ解決していく。本中期経営計画期間中は、開業医・中小病院・保険薬局市場を強化し、業績の安定的な拡大を図る。
- 次に、来るべきジェネリック医薬品の本格的な普及にあわせ、確立した信頼性をもとに市場を拡大していく。開業医・中小病院・保険薬局市場だけでなく、大病院市場でも業績を伸ばしていく。
- また、ジェネリック医薬品の本格的な普及期においては、コスト競争が見込まれることから、より低コストでの製品供給が可能となるよう取り組みを始める。

< 中期経営計画主要課題 >

1. 「信頼性の確立」 当社は、より高いレベルで自主品質基準を定め、必要な試験データを取り揃え、それを積極的に情報提供していくことにより、着実に信頼性を高めていく。
2. 「開業医・中小病院・保険薬局市場の強化」 本中期経営計画期間中は、当社が最も強みとする中小病院も含めた開業医市場、および成長市場である保険薬局市場を中心に業績を拡大していく。
3. 「製剤技術・製造技術の向上」 当社は製剤的な付加価値を有する製品の創出に取り組んできたが、今後は顧客満足度の向上のためだけでなく、コスト低減のための製剤技術・製造技術の向上に取り組んでいく。

< 中期経営計画数値目標（2010年度） >

- 売上高 412 億円
- 営業利益 85 億円
- 当期純利益 52 億円

なお、詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上